市民意見聴取会　総括報告

枚方市駅周辺のまちづくり

市民アンケート結果の背景にある「市民ニーズ」について

令和８年１１月

枚方市　市駅周辺まち活性化部

意見聴取会の概要等

意見聴取会の概要

	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回
開催日時	8/21(金)14:00	8/21 (金)19:00	8/23(日)14:00	8/27(木)14:00	8/27(木)19:00	8/29(土)19:00
開催場所	市役所第3分館 1階 第3･4集会室					
参加者数	23名	14名	18名	22名	9名	13名
内　容	1.市民アンケート結果などのご説明 2.参加者からのご意見の聴取					

実施の背景と目的

市民意見聴取会は、令和８年６月に実施した「枚方市駅周辺のまちづくりに関するアンケート（市民アンケート）」の結果について、対面での意見交換を通じて、回答の背景にある考えやニーズをより深く把握することを目的として実施したものです。

取りまとめ内容

本聴取会でいただいたご意見を基に、市民アンケート結果の背景にある市民の皆さまのお考えやニーズについて取りまとめました。

※本取りまとめは、市民の皆様の総意を示すものではございませんが、意見聴取会に参加された方々のご意見を基に、
アンケートだけでは把握できない具体的なお声を参考としてまとめております。

テーマⅠ

枚方市駅前が将来どんな場所になってほしいか、そう考える理由

子どもの成長を育む場所やみどりが広がる空間、交流や賑わい、暮らしを支える窓口機能まで、
市民の皆様が駅前に寄せる多様な期待とその理由をまとめています。

①子育て・②みどり

①子どもの成長を育む場所

全天候型の遊び場不足

雨や酷暑でも遊べる場所が不足しているから

費用負担の軽減

有料の商業施設で子どもを遊ばせると費用負担が大きいため、無料で安心して過ごせる遊び場が欲しい

五感を育む「土」の体験

子どもの五感を育てるため、「土」がある空間が必要だから

車がなくても遊びに来れる場所

車がなくても、公共交通で来られる場所に子育て機能がほしい

②みどりと調和した心身が健やかになれる場所

貴重な空間

駅前に市役所とニッペパーク岡東中央が隣接する現在の他市にない大変貴重な空間（枚方らしさ）であるから

木陰と避難場所

近年の酷暑や地球温暖化が深刻なこと、豪雨や巨大地震などの災害リスクが高まっていることから、昔のような木陰の多い、避難場所にもなるみどりの大空間にして欲しい。

五感を育む「土」

子供の五感を育てるため、「土」がある空間が必要。【再掲】

③にぎわい・④ビジネス・⑤住まい

③交流やにぎわいを感じる場所

多世代交流空間

幅広い世代が過ごしたくなる・住み続けたくなる環境を充実させるため、図書館、文化施設、スポーツなど多様な機能など、多様な世代が交流できる空間を整備してほしい。

地域資源との連携

人口減少が進む中、市外からの流入人口や交流人口を増加させるため、枚方宿（京街道）などの地域資源（歴史・文化等）との連携を図ってほしい。

④挑戦とビジネスが生まれる場所

本項目に関する直接的な意見は見られなかった。

⑤便利で快適な住まいが集まる場所

人口減少対策

人口減少対策として、容積率などの緩和も活用し、住宅も含め様々な意見を取り入れた施設を整備し、市外から人を呼び込み税収増にもつなげるべき。

⑥行政機能・⑦市民活動

⑥市民生活を支える場所

対面相談窓口

デジタル操作に不慣れな市民もいること、手続きだけじゃなく相談する場でもあることから、直接対面の窓口を存続させてほしい。

駅近の利便性

行政機能の中でも市民の利用頻度が高い機能が駅近くにあると市民や事業者にとって便利だから

⑦学びを深め、市民活動を支える場所

学び・活動施設の不足

駅近くに大きな図書館や自習スペース、会議室やスタジオ等の施設がないから

歴史・文化の重要性

枚方の歴史を活かし、観光客も呼べる歴史資料館や、人形劇などの後継者を育成できるホールなどの活動場所など、文化的な複合施設がほしい。

⑧その他

大学連携

子どもの学びの環境が住む場所を選ぶ理由になるから、大学との連携に力を入れてほしい。

支所・出張所機能

枚方市駅にアクセスすることが難しい市民も多いから、各支所・出張所機能を充実させてほしい。

市内全域のバランス

枚方市駅周辺の再整備だけでなく市内全域のバランスが重要だから、東部などを含めたバス路線網の維持・充実や外出支援、身近な公園の草刈りなど日々の暮らしやすさを維持してほしい。

車両の利用環境

車やバイクで駅前を利用しにくいと不便だから、駐車場や駐輪場の利用料金など利用しやすい環境を整えてほしい。

テーマ Ⅱ

まちづくりで重要だと思うこと、そう考える理由

市駅前再整備のスピード感、防災拠点、市役所のアクセス性、にぎわい空間の創出、
そして、財政負担への懸念など、まちづくりを進めるにあたっていただいたご意見をまとめています。

①スピード

①新しい市役所を含め駅周辺のまちづくりが早く進むこと

耐震性への不安と防災拠点確保

現庁舎は築６０年を超え、老朽化していて耐震性が不安であり、大地震などの災害が懸念されるから、有事の際の司令塔となる堅牢な市役所を早急に整備してほしい。

窓口分散の早期解消

窓口が分散し手続きの移動や場所が分かりにくく、狭いため、機能を１か所に集約しワンストップで手続きが完結し、ゆとりある庁舎を早期に整備してほしい。

建設費高騰による費用増大回避

資材価格や人件費の高騰が続いているから、決定が遅れるほど建設費が増大するため

②アクセス性・③災害への強さ・④にぎわい

②駅からアクセスの良い場所に市役所があること

誰もが行きやすい立地

高齢者や障害者、子連れにとって駅から遠くなると利用しにくいから、駅から平たんで行きやすい場所（市民会館跡地等）に建て替えてほしい。

③災害に強く、しなやかに対応できるまちであること

耐震性への不安と防災拠点確保

現庁舎は築６０年を超え、老朽化していて狭く耐震性が不安であり、大地震などの災害が懸念されるから、有事の際の司令塔となる堅牢な市役所を早急に整備してほしい。【再掲】

④駅周辺に人が集い、にぎわいや活気が広がること

活力向上・税収増

土地の有効活用が税収増や人口減少対策につながるから、適度な商業施設等の誘致により駅周辺の活力を高めてほしい。

市民交流のにぎわい

まちのブランド力向上や市民活動の交流が重要だから、市民が集える賑わいの拠点（おにクル、ＫＡＤＯＭＡＤＯのような）を整備してほしい。

⑤財政負担

⑤市が負担するお金が少ないこと

破産リスクの回避

建設費用高騰の中で大規模な開発は見直し、将来の破産リスク等を回避するため、適正な財政運営を行うべき。

最小経費での最大効果

最小の経費で最大の効果を挙げるよう、市有地への建て替え等の市民の声をよく聞いて計画してほしい。

将来世代への負担回避

将来世代に過度な借金や財政負担を残したくないから、不要な支出を抑えつつ他の必要な事業や市民サービスに予算を充ててほしい。

既存資産を活用したコンパクト整備

人口減少時代に大規模開発は財政を圧迫するから、既存資産を活用したコンパクトで無駄のない整備を行ってほしい。

資産売却による財源確保

分散している庁舎や遊休資産を含めて売却し、新しい庁舎の建築に使うなど財政的な補填を工夫すべき。

⑥その他

将来世代への市有地の継承

先人が苦労して残した貴重な市民の財産である市有地を民間（タワーマンションや商業施設）に売却・貸与せず、将来世代に大切な財産（公共空間）として引き継いでほしい。

将来のための「余白」の確保

５０年～１００年後の環境変化や災害時にヘリ離着陸や物資搬送に柔軟な対応が必要だから、市有地を建物で埋め尽くさず将来世代のための「余白」を残してほしい。

旧庁舎の一部保存・リノベーション

古き良き枚方の歴史や愛着を大切にしたいから、築６０年の旧庁舎を全面解体せず、御堂筋や中之島中央公会堂のように一部を保存・リノベーションして趣のある空間にしてほしい。

ＤＸ化によるダウンサイジング・場所の検討

将来的にＤＸ推進による窓口業務の削減や庁舎のコンパクト化が進むから、適正規模へのダウンサイジングや駅から少し離れた場所への配置も検討してほしい。

持続可能なまちづくり

子どもや孫などの若者世代が、将来にわたって住みたい・住み続けたいと思える魅力的なまちづくりをしてほしい。